

学長からの メッセージ

桐生大学・桐生大学短期大学部

学長 **山崎 純一**

主な経歴

1976年3月 東邦大学医学部 卒業
1981年7月 米国イーストカロライナ大学 留学
1991年6月 東邦大学医学部内科学第一講座 講師
1998年1月 東邦大学医学部内科学第一講座 教授
2006年7月 東邦大学 医療センター大森病院 病院長
2012年7月 東邦大学 学長
2015年4月 東邦大学 名誉教授
2018年7月 東邦大学 名誉学長
2018年9月 桐生大学・桐生大学短期大学部 副学長 兼 医療保健学部長
2020年4月 桐生大学・桐生大学短期大学部 学長

<学会認定医・専門医>

日本内科学会認定医

日本循環器学会専門医



「実学実践」という本学園の教育方針のもと 社会から評価され続ける大学を目指して

本学は1901年(明治34年)に設立された「桐生裁縫専門女学館」を前身とし、「社会に出て役立つ人間の育成」という建学の精神を基盤に120年以上にわたり多くの医療人や教育者、研究者などを世に送り出してきた歴史ある大学です。医療保健学部(看護学科、栄養学科)、別科(助産師課程)、短期大学部(生活科学科、アート・デザイン学科)を要する生命科学の総合大学として発展し、医療の最前線で活躍する看護師・保健師・助産師など、また生命にとって大事な「食」を扱う管理栄養士・栄養士などの資格支援サポートをきめ細かく行っております。また、人が生活をしていく中で心に「潤いや文化」が求められますが、そのひとつとして芸術、特にアート・デザインを学ぶ学科を備えており、学生一人ひとりの就職活動も丁寧に支援しており、これまでも高い就職率を誇っています。

一方、我が国では超高齢社会を迎えようとしていますので、関連する医療人が連携し対象となる方々をサポートする「チーム医療」や「チームケア」が求められています。このため、医療や看護学、栄養学を学ぶ本学では、専門資格を取得するための講義に加えて各学科間の学生の連携強化を目指しています。

また、大学や短期大学における教育の役割として専門性の高い知識・技能を提供するとともに、学生の知的・道徳的人格の形成および思考力・協働性の育成が重要な課題です。本学はこれまでも「大学と地域社会との連携」を推進し、「社会活動」への参加、「市民とのふれあい・交流」を促進し、地域に根ざした大学という基盤を築いて参りました。校舎の間に木々が適切に配置されたキャンパス内には、勉学・サークル活動・ボランティア活動をサポートする環境が整っていますし、学生・教員ともども相互の交流の場になっています。

大学で学ぶ学生には精神的自立の確立、つまり、自分の考えを持ち、揺るぎない信念と自己の行動に責任を持つことなどが求められますので、大学入学の目的、学ぶ意義を改めて考えて下さい。

今後も、「実学実践」という本学園の教育方針のもと、社会から評価され続ける大学を目指して参りますので、皆様方と本キャンパスでお会いできますことを祈念しております。